

核実験に抗議し、核軍縮・不拡散に向けた声明文

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は、1月6日に水爆実験を実施したと発表した。

この行為は、同国に対する2回にわたる国連安全保障理事会の決議を無視した暴挙であり、北東アジア及び国際社会全体の平和と安定を著しく損なった。このことは、核軍縮・不拡散に向けた国際社会の真剣な取組に逆行するものであり、強く抗議するものである。

羽村市議会は、世界連邦平和都市宣言を行っている議会である。また、羽村市も平和都市宣言を行い、日本国憲法の平和の精神を守り、世界の人々と手を携えて、戦争の防止と、被爆国としての悲惨な体験から、核兵器のない世界平和の実現に努めている。

羽村市議会は、どこの国であれ組織であれ、世界人類の生存の権利を脅かす核の使用及び核実験をすることは、断じて容認することはできない。

我が国は、国際連合加盟60周年を迎え、国連安全保障理事会非常任理事国となっている。日本政府においては、国際社会と連携し、世界の平和と安全を維持・推進することを強く求めるものである。また、核軍縮・不拡散に向け、国連のリーダーシップにおおいに期待するものである。

平成28年1月18日

東京都羽村市議会